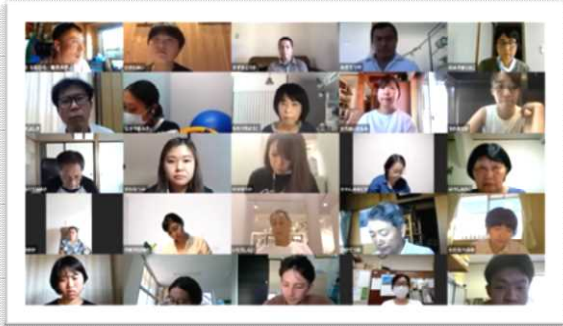
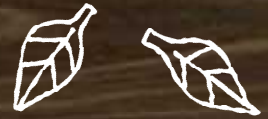


# 講座だより



【オンラインによる講義の様子】

令和3年8月28日（土）に森林環境教育指導者養成講座の『養成コース第2回』を実施しました。第2回も前回に引き続きオンラインでの実施となりましたが、途中、クイズやゲームを取り入れた内容となっており、まるで対面で受講しているような講義でした。午前には東京農工大学の吉川正人氏より『森林基礎知識講座』と題し、基本的な森林の概念についてお話いただきました。午後は鶴見大学短期大学部の増田直広氏より『森林環境教育基礎講座』と題し、様々な森林環境の分野や役割についてお話いただきました。

## 【午前】森林基礎知識講座「環境教育のための森林基礎知識」

最初に日本の森林と自然にはどのような特徴があるのか、世界の植生分布と比較しながら説明がありました。森のタイプは気温によって異なることや、森は変化していないようにみえて、遷移という変化をしており太古の昔から変わらない姿ではないことが語られました。また地域の自然を守るためには、木だけを見るのではなく、植物群落としてまとまりごと保全する必要があることが語られました。どのお話も今後、受講者が指導者として森林環境教育を行う上で必要となる基礎知識であり、森林について理解を深めることができました。



1. 森の国とはどういうこと？  
～日本の自然と森林～
2. 森は動いている  
～森林の遷移と更新～
3. 森は植物の共同体  
～植物群落という見方～

【吉川正人氏の講義の様子】

## 【午後】森林環境教育基礎講座「森林での多様な環境教育と目的」

【増田直広氏の講義の様子】



### 森林環境教育の切り口

in/about/for  
環境教育 { in about for } { 自然 人間 (文化) 森林 }

森林の中での環境教育  
森林についての環境教育  
森林のための環境教育

森林は、  
自然と人間  
(文化・社会)の  
要素を持つ

午後は森林空間を活用した様々な環境教育の具体的な内容と目的について講義がありました。環境問題と一言で言っても、様々なカテゴリーの課題があり、それと同じ数だけ環境教育にも様々なアプローチがあることや、森林環境教育の切り口として「in」「about」「for」の3つがあり、特に「for」である「森林のための環境教育」は、持続可能な社会実現のために大切であることが語られました。また、指導者は森林と教育をつなぐ役割があり、まなびの場づくりや指導者としての在り方など、指導者が担う役割は大きいことを学びました。

### <発行元>

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課 自然ふれあい班  
電話:054-221-2848 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp